

めざせ健康寿命日本一：宮崎大学みやざき健康キャラバン隊による学部連携・地域巻き込み型啓発活動の現在地とこれから

渡邊 望¹、海北幸一²、田島卓也³、山子 剛⁴、塩瀬圭佑⁵、西片奈保子⁶、淡野公一⁶、名越 敏郎⁷

1. 宮崎大学医学部機能制御学講座循環動態生理学分野
2. 医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野
3. 医学部感覚運動医学講座整形外科分野
4. 工学部機械知能工学プログラム
5. 教育学部保健体育講座 スポーツ生理学分野
6. 研究・産学地域連携推進機構
7. 名越内科

宮崎大学みやざき健康キャラバン隊は、国立大学運営費交付金によるミッション実現戦略経費第4期プロジェクトとして採用された事業「分野横断体制でとりくむ循環・運動器疾患の克服による健康寿命の延伸」の一環として2023年に本格始動した学部連携の健康啓発チームで、健康寿命日本一につながる社会的アウトカムを目指して多方面で活動が続いている。健康寿命に直結する、「循環器疾患と運動器疾患の克服」をメインテーマとし、①宮崎のかくれ心房細動ゼロ!!作戦 ②#あるこうやみやざき を二本柱として一般市民および医療福祉関係者に向けた活動を展開している。一般市民への啓発を全県下で進めるために市町村や地域団体等と広く連携し、3世代に向けた地域巻き込み型啓発活動を実現している。大学発の新しい地域連携事業の形として現状と展望につき報告する。

- ① 宮崎のかくれ心房細動ゼロ!!作戦：重症脳卒中の原因となる身近な不整脈の予防と早期発見・早期治療を目的とした「自己検脈」の周知
- ② #あるこうやみやざき：歩数増加によるロコモ予防、心疾患・脳卒中予防のためのオリジナルソング・ミュージックビデオの作成(みやざき犬とのコラボ)

<地域連携の具体例>

- ・ 地域メディアとの連携：FM 宮崎・月刊パームスとの連動企画を軸に、ローカルラジオや雑誌・新聞などでのキャラバン隊の活動周知
- ・ 自治体や地域自治会主催イベントでの健康ブース・ステージショー実施
- ・ 小中学校の児童生徒と保護者に向けた学校キャラバン
- ・ 県・市町村の健康保険行政との連携
- ・ 地域団体との連携(ニシタチまちづくり協同組合・MOC・高齢者クラブなど)

<現時点でのアウトカム例>

- ・後期高齢者健康診査での心電図検査実施市町村増加(令和6年度24市町村)
- ・宮崎県の歩数が男女ともに増加・脳卒中原因としての心房細動の理解度増加など

<目標アウトカム>

地域に密着した国立大学の学部連携事業として、地域の力を巻き込み実効力のある啓発活動を定着させ、「宮崎モデル」として県内全域での3世代の行動・認識の変容へつなげる。社会的アウトカムとして、宮崎県の心臓病・脳卒中減少、歩数増加による要介護者を減少させ、健康寿命日本一の実現を目指す。